

ガストロノミーマニフェストに基づく食と周辺産業の連携による、食分野における日本の発信力強化

目的

料理人、農業、観光、教育、自治体等の関係者・拠点が連携し、日本の食の未来ビジョン（行動規範）となる「ガストロノミーマニフェスト」を策定するとともに、マニフェストに基づいて日本の食の発信・展開等に取り組むことにより、食分野における日本の国際的発信力・展開力の強化につなげる。

持続可能な食文化産業の在り方に関する宣言。特に欧州を中心に、料理人や生産者、研究者等が連携し、マニフェストに掲げられた理念（料理の中に季節感を反映、伝統食材の新しい価値探求等）を全世界の消費者に向けて発信する活動が活発化。

プロジェクト概要

海外有識者を招へいたシンポジウムの実施

ガストロノミーに造詣の深い海外有識者を招へいし、日本の食文化の強みなどを議論。

国際視点の
インプット

産業界等との連携強化に向けた調査

マニフェストの策定・活用に係る観光事業者や教育機関との連携強化を目的としたヒアリング調査を実施。

産業界等の視点
のインプット

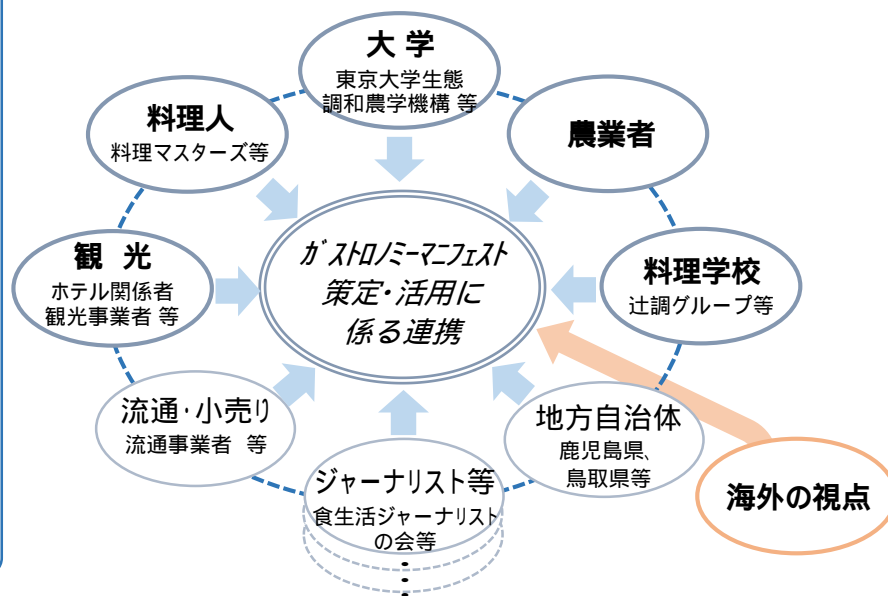
地方でのワークショップやアクションリサーチの実施

地方において、マニフェストの効果的な活用方法を議論するワークショップや、料理人、農業、観光、教育、自治体等の関係者・拠点が連携してマニフェストに基づき行動し、その結果を検証するアクションリサーチを実施。（鹿児島、鳥取等を予定）

地方・コミュニティ
視点のインプット

マニフェスト策定部会の開催

様々な分野の関係者を巻き込み、ガストロノミーマニフェストを策定・マニフェストの効果的な活用方法を確立。



マニフェストを策定し、効果的に活用・発信・展開する連携体制を構築

食分野における日本の国際的発信力・展開力の強化